

【お願いしたい事例】「我が家では、まだ不十分かも…」、「何からはじめれば？」という人は、以下の項目をチェックして、削減率の合計が10%以上になるように取り組んでみましょう。去年取り組んでいた家庭でも、もう一度確認をお願いします。

次のような節電の取組がおすすめです。		節電効果	
		削減率	チェック
エアコン	室温28℃を心がける ※設定温度を2℃上げた場合	10%	<input type="checkbox"/>
	「すだれ」や「よしず」などで窓からの日差しをやわらげる ※エアコンの節電になります	10%	<input type="checkbox"/>
	無理のない範囲でエアコンを消し、扇風機を使う ※下記注意点も参照	50%	<input type="checkbox"/>
冷蔵庫	冷蔵庫の設定を「強」から「中」に変え、扉を開ける時間をできるだけ減らし、食品をつめこみすぎない ※下記注意点参照	2%	<input type="checkbox"/>
照明	日中は不要な照明を消す	5%	<input type="checkbox"/>
テレビ	省エネモードに設定し、画面の輝度を下げ、必要な時以外は消す ※標準→省エネモードに設定し、使用時間を3分の2にした場合	2%	<input type="checkbox"/>
炊飯器	早朝にタイマー機能で1日分まとめて炊いて、冷蔵庫や冷凍庫で保存する	2%	<input type="checkbox"/>
待機電力	リモコンの電源ではなく、本体の主電源を切る 長時間使わない機器はコンセントからプラグを抜く	2%	<input type="checkbox"/>

削減率の合計が10%以上となるよう、節電にご協力をお願いします。

チェック合計

10%以上

- 上記事例と節電効果については、平成24年5月・経済産業省「今夏の節電メニュー（ご家庭の皆様：九州）」から抜粋
- 効果の記載値は、在宅家庭の昼間のピーク時の消費電力（14時：約1200W）に対する削減率の目安（資源エネルギー庁推計）

追伸：注意点をもう一度おさらい&節電マメ知識

【冷蔵庫】
 ▼冷蔵庫は、食品を保管するためのものです。食品をつめこまないように、買い物の回数を増やしたりすると、余分なガソリンを使ってしまいます。また、食品を腐らせたり、電気以外の分野でムダが発生しないように、バランスを保ちましょう。

【部屋の明るさ】
 ▼節電のためにと、暗い部屋でテレビを観たり、読書、勉強をしたりしないようにしましょう。

【照明器具】
 ▼節電のためには、こまめに電源を切るべきですが、蛍光灯の頻繁なオンオフは、ランプの寿命を縮めてしまいます。またランプや、かさが汚れていると明るさが低下します。キッチン周りなどは、特に掃除を心がけましょう。

【エアコン】
 ▼製品にもよりますが、除湿運転や頻繁な電源のオンオフはかえって消費電力を多くします。また、乳幼児や高齢者のいる家庭では、エアコンの控え過ぎによる熱中症に十分注意してください。

過度の節電には、ご注意ください。

夏の節電

去年は、みなさんのご協力により、九州電力管内で7%の節電（おととしと比べて）を達成することができました。ご協力、ありがとうございました。

もう少し、あと3%

ニュースなどで、話題になっているとおり、今年の夏は、去年よりも電力確保が厳しい状況です。去年より3%程度以上（おととしからは10%程度以上）の節電に引き続きご協力をお願いします。

【問い合わせ】杵築市役所・生活環境課（本庁舎）☎0978-62-3131

■特に節電をお願いしたい期間・時間帯

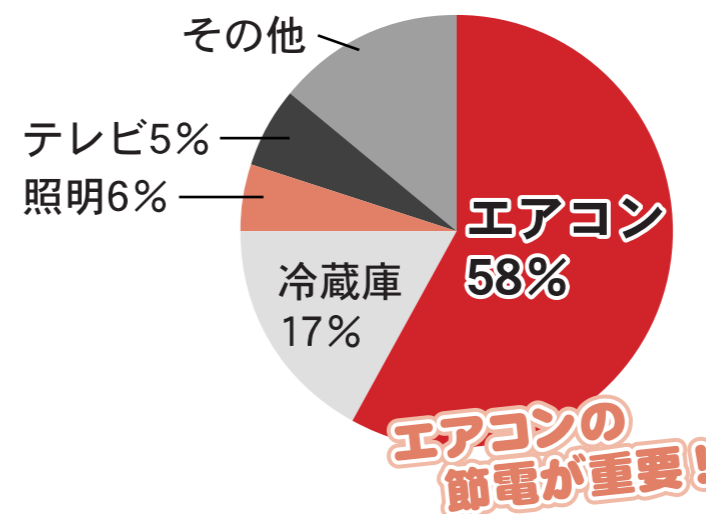
7月2日（月）から9月7日（金）の平日（8月13日から15日を除く）
 9時から20時の間

■目標とする節電量（ピーク時間帯：13時～17時）

去年の夏より3%程度以上（おととしより、10%程度以上）

※この期間・時間帯以外も、生活に支障のない範囲で節電にご協力ください。

家庭における夏の昼間（14時頃）の電気機器の使われ方（在宅世帯の例）



▼家庭には、他にも消費電力が大きい電気製品があります。
 平日の昼中（13時から17時）を避けて使用する、または使用する時間帯が重ならないように工夫するなど、ご協力をお願いします。

▼電力消費の多い製品・例
 アイロン・電気ポット・電子レンジ
 ホットプレート・IHクッキングヒーター
 ドライヤー・洗濯乾燥機・トースター
 食器洗い機・浴室乾燥機・掃除機…など。

【出典：資源エネルギー庁推計】